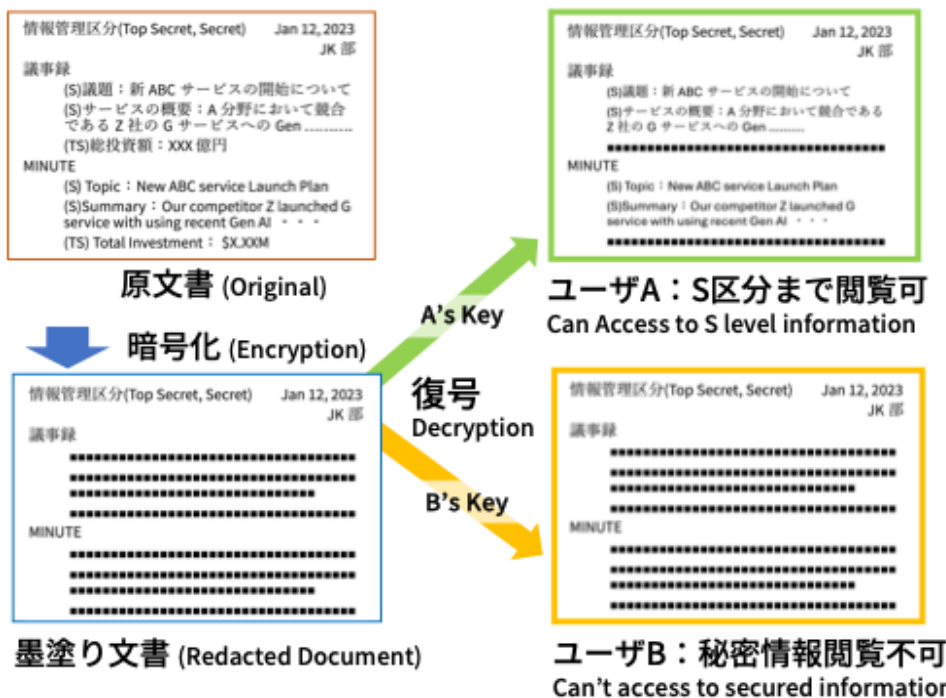


SPIP: 機密保護とデータ流通を両立させる技術

企業内でのファイルやデータの送受信、AIなどへのデータの投入する際の個人情報・機密情報のリスクを低減します

#顧客体験価値向上、#レジリエンス

SpillProof™ Document



電子的な墨塗りと、利用者の権限に応じた開示により、配布した文書からの機密情報の漏洩を防止

Protect breach of privacy/secret information by electronic redaction and disclosure dependent on authority of users.

Spill Proof Document™ is a trademark of NTT DATA Federal

///技術課題

オンラインのシステムでは、利用に応じてマスキングなどのプライバシー確保が行われているが、ファイル及びダウンロードされた情報の中のデータに対するプライバシー確保は困難でした。

///研究目標

SPIPを組み込んだ文書管理サービスにより、データの漏洩時や、電子メールなどで配布した文書からの個人・秘密情報の漏洩リスクを低減します。

---要素技術

属性暗号技術、匿名化技術、秘密計算技術(NTTグループ開発の個人情報・機密情報保護技術)

---市中技術差異点

従来は配布するデータを作る際には、個々の利用者や目的に応じたデータを作成して配布が必要。属性暗号技術 (ABE)は、データへのアクセスコントロールと暗号化を一つにしており、暗号化されたデータを流通させた後にも、ユーザや目的などによりアクセス制御が可能

---適用ビジネス

- 政府や地方自治体、一般企業の文書管理ビジネス分野にいて、電子的に文書の墨塗りし、権限に応じた開示ができるサービスなどに活用 (2025年頃) [文書管理サービスの市場規模約4000億円]
- コンタクトセンタービジネス分野に置いて、音声認識したトランスクリプト中の個人情報・秘密情報の保護をしつつデータ活用を行うサービスに適用 (2025年頃) [コンタクトセンターの録音分析・活用ソフトウェアとして市場規模約2000億円]